今日、京響？　Kyoto Symphony Orchestra

第614回　定期演奏会

The 614th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

広上淳一のブラームス讃 第1弾 ～交響曲第3番

永遠のヴィルトゥオーゾ、ズーカーマンで聴くベートーヴェン

指揮　**広上 淳一**（常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー）

Conductor : Junichi HIROKAMI (Chief Conductor & Music Advisor)

ヴァイオリン　**ピンカス・ズーカーマン**

Violin : Pinchas ZUKERMAN

©Cheryl Mazak

ブラームス：大学祝典序曲op.80
ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.61
ブラームス：交響曲第3番ヘ長調op.90

Brahms : Academic festival overture op.80
Beethoven : Concerto for violin and orchestra in D major op.61
Brahms : Symphony No.3 in F major op.90

京都市交響楽団

2017 **7/15(土)・7/16(日)**

京都コンサートホール
京都市営地下鉄烏丸線「北山」駅下車、出口1・3番から南へ徒歩約5分
午後2時30分開演（午後1時30分開場）

Sat, July 15, 2017 / 2:30PM　Sun, July 16, 2017 / 2:30PM　Kyoto Concert Hall

開演前（午後2時10分ごろから）は指揮者による「プレトーク」、
終演後は「レセプション」でお楽しみください。
「プレトーク」はホール・ステージ上にて、「レセプション」はホール・ホワイエにて開催します。

入場料　S ¥5,000　A ¥4,500　B ¥3,500　P ¥2,000（舞台後方席）

当日残席がある場合のみ発売▶学生券&後半券　S ¥2,000　A ¥1,500　B ¥1,000
※学生券は開演1時間前から（学生証をご提示ください）、後半券は開演後から休憩終了（後半開始）まで発売（学生券は、席種は選べますが、座席指定はできません）。

◆1歳以上未就学のお子様は「託児ルーム」（有料・要予約）をご利用ください。
（お子様お1人につき1,000円／2017年7月7日までに京響075-711-3110へお申し込みください）
◆10枚以上でのチケットお申し込みには団体割引（10%OFF）があります。
京響（075-711-3110）までお問い合わせください。

プレイガイド（電話予約）
●京都コンサートホール…（075）711-3231　●ロームシアター京都…（075）746-3201
（24時間オンラインチケット購入…https://www.e-get.jp/kyoto/pt/）
●チケットぴあ……（0570）02-9999　Pコード315-344
●ローソンチケット……（0570）000-407　Lコード52000

©伊藤菜々子

お問い合わせ
京都市交響楽団（075）711-3110　http://www.kyoto-symphony.jp/
京都コンサートホール（075）711-3231　http://www.kyotoconcerthall.org/

◎未就学のお子様のご入場はお断りいたします。　◎都合により曲目、出演者等が変更となる場合がございます。

主催：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団　京都市　協賛：ローム株式会社　協力：株式会社ドルチェ楽器　後援：（株）エフエム京都
発行：公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団

美しいひびき、感動にみちた
音楽との出会いをお届けします。

Rohm Music Foundation ロームミュージック ファンデーション
ROHM SEMICONDUCTOR

京都市交響楽団
第614回定期演奏会

常任指揮者就任10年目の広上淳一が満を持して定期演奏会で初めて取り上げるブラームスの交響曲！第1弾は、雄大で叙情あふれる交響曲第３番を。ヴァイオリニスト、ヴィオリスト、指揮者、教育者、室内楽奏者として世界の音楽界で不動の地位を築く、カリスマと情熱の巨匠ピンカス・ズーカーマンが奏でる気品高きベートーヴェンの協奏曲とともに、ドイツ音楽の魅力をお届けします。

The 614th Subscription Concert of the Kyoto Symphony Orchestra

指揮　広上 淳一（常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザー）
Conductor : Junichi HIROKAMI (Chief Conductor & Music Advisor)

Photo : Greg Sailor

東京生まれ。東京音大指揮科に学ぶ。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。1991 ～ 95年にはノールショピング交響楽団、1998 ～ 2000年にリンブルク交響楽団の各首席指揮者を、1997～2001年ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団首席客演指揮者、1991 ～ 2000年には日本フィルハーモニー交響楽団の正指揮者を歴任している。近年では、ヴァンクーヴァー響、ミラノ・ジュゼッペ・ヴェルディ響、サンクトペテルブルク・フィル、ボルティモア響、シンシナティ響、カルガリー・フィル、スタヴァンゲル響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、ポーランド放響、スロヴェニア・フィル、サン・パウロ響等へ客演。2006 ～ 08年には米国コロンバス交響楽団音楽監督を務め、ヨーヨー・マ、ミドリをはじめ素晴らしいソリストたちとの数々の名演とともに Denon レーベルにはチャイコフスキーの録音を残し、その実力を内外に知らしめた。2007年夏にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本に招聘され、ハイドンとラフマニノフ、2008年5月には水戸室内管弦楽団の指揮台に立ち、モーツァルト、ベートーヴェンほかのプログラムでともに絶賛を博した。オペラ指揮の分野でも1989、90年のシドニー歌劇場におけるヴェルディの《仮面舞踏会》や《リゴレット》が高く評価されたのをはじめ、最近では、新国立劇場《椿姫》、日生劇場《ドン・ジョヴァンニ》が記憶に新しい。また、多忙な指揮活動と並行して、母校東京音楽大学教授としても後進の育成に情熱を注いでいる。京都市立芸術大学客員教授。2013年「第32回藤堂音楽賞」、2015年京響とともに「第46回サントリー音楽賞」を受賞。2008年4月から京都市交響楽団第12代常任指揮者、2014年4月からは第12代常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに就任。

ヴァイオリン　ピンカス・ズーカーマン
Violin : Pinchas ZUKERMAN

©Cheryl Mazak

ピンカス・ズーカーマンは、40年の長きにわたり世界の音楽界で不動の地位を築いている。その驚くべきテクニック、そしてゆるぎない芸術的水準は聴衆、そして批評家から驚嘆の声をもって迎えられている。また献身的ともいえる教育活動は高い評価を得ており、そのカリスマと情熱で数々の若手演奏家に霊感を与え続けてきた。ズーカーマンの名はヴァイオリニスト、ヴィオリスト、指揮者、教育者、そして室内楽奏者として等しく尊敬を集めている。2016-17シーズンはロンドンのロイヤル・フィルハーモニー管首席客演指揮者として8シーズン目、アデレード響のアーティスト・アソシエーションとして2シーズン目を数え、世界各地で100以上の演奏会が予定されている。指揮者、ソリストとしてクリーヴランド管やボストン、ピッツバーグ、モントリオールの各交響楽団のほか、ベルリン・フィル、イスラエル・フィル、カメラータ・ザルツブルクなどへの客演が予定されている。またイェフィム・ブロンフマンとのリサイタルやズーカーマン・トリオでの室内楽演奏会も予定されている。献身的で革新的な教育者であるズーカーマンは、マンハッタン音楽学校でピンカス・ズーカーマン・パフォーマンス・プログラムを立ち上げ、芸術界で初めて通信教育技術を取り入れた。過去17シーズンにわたりナショナル・アーツ・センター・オーケストラ（NAC）の音楽監督を務めたカナダでは、オーケストラ演奏を学ぶためのNACインスティテュートと若手音楽家のための夏季音楽院を設立した。現在ズーカーマンはNACの名誉指揮者とヤング・アーティスト・プログラムの芸術監督を務めている。1948年テルアビブ生まれ。ジュリアード音楽院でイヴァン・ガラミアンに師事。これまでに芸術メダル、アイザック・スターン賞を受賞。また器楽奏者として初めてロレックス・メンター・アンド・プロテジェ・アーツ・イニシアティブのメンターを務めた。これまでに100以上の録音をリリースし、グラミー賞を2度受賞、昨年7月にはドイツ・グラモフォンとフィリップスの録音全集がリリースされた。最新盤はNACオーケストラ／アマンダ・フォーサイス(Vc.)／チャールズ・ハーマン(Ob.)とのバロック作品集「バロック・トレジャリー」である。

©伊藤菜々子

京都市交響楽団　Kyoto Symphony Orchestra

日本唯一の自治体直営オーケストラとして1956年創立。2008年4月第12代常任指揮者に広上淳一が就任。2014年4月から常任指揮者兼ミュージック・アドヴァイザーに広上淳一、常任首席客演指揮者に高関健、常任客演指揮者に下野竜也が就任。2015年広上淳一とともに「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年6月広上淳一指揮のもとヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアーと京都市内で「ふらっとコンサート」を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞受賞。2017年4月からは下野竜也を常任首席客演指揮者に据えて広上・高関・下野による3人指揮者体制を確立し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

❖ 次回予告 ❖

2017 5/20 ㊏ から発売！

第615回定期演奏会

©Yoshinori Kurosawa

川瀬賢太郎のヴェルディ「レクイエム」
オペラを超越したドラマティックなミサ曲の最高傑作

日時：2017年8月13日㊐　午後2時30分開演
会場：京都コンサートホール
指揮：川瀬 賢太郎
独唱：小川 里美（ソプラノ）　福原 寿美枝（メゾソプラノ）
藤田 卓也（テノール）　妻屋 秀和（バス）
合唱：京響コーラス
曲目：ヴェルディ：レクイエム

入場料　Ⓢ¥5,000　Ⓐ¥4,500　Ⓑ¥3,500　Ⓟ¥2,000（舞台後方席）

2017 6/23 ㊎ から発売！

第616回定期演奏会

アクセルロッド、「死」をめぐる3つのドラマ
武満からR.シュトラウス、そしてベルリオーズへ

©Stefano Bottesi

日時：2017年9月2日㊏　午後2時30分開演
2017年9月3日㊐　午後2時30分開演
会場：京都コンサートホール
指揮：ジョン・アクセルロッド
曲目：武満徹：死と再生～「黒い雨」より
R.シュトラウス：交響詩「死と変容」op.24
ベルリオーズ：幻想交響曲op.14

入場料　Ⓢ¥5,000　Ⓐ¥4,500　Ⓑ¥3,500　Ⓟ¥2,000（舞台後方席）